

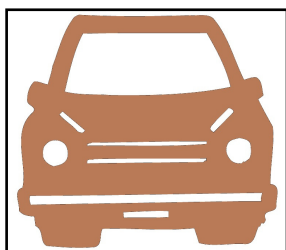
5分で読める

ちょっと役に立つ

## 『エコドライブ知識』

エコドライブチェックから  
エコドライブの具体的な運転方法

平成24年3月



# エコドライブ その1

## ■エコドライブチェックをしましょう

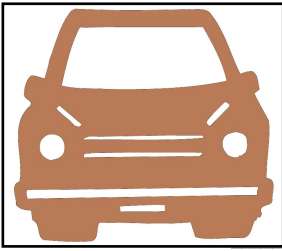
最近、「エコドライブ」という言葉を聞きませんか？ なぜ、今、この言葉が聞かれるようになったのでしょうか？ そもそも「エコドライブ」ってどういうことなのでしょうか？

地球温暖化進行の原因の1つに、自動車利用によるCO<sub>2</sub>排出量の増加があります。「エコドライブ」することでCO<sub>2</sub>の排出量を削減できる効果があがるのです。それ以外に、燃料代節約や交通事故防止・渋滞緩和などの交通安全効果もあります。以上がエコドライブを心がけることで得られる効果なのです。だから、今、「エコドライブ」が推奨されているのです。どんな運転を「エコドライブ」というのでしょうか？ その前に、あなたが自動車を運転しているときに「エコドライブ」を意識しているかを以下の「エコドライブチェック」で確認してみましょう。

1	エンジンをかけたら、すぐ出発するようにしている	YES	NO
2	発進時のアクセルは、やさしく踏み増すよう常に心掛けている	YES	NO
3	できるだけ一定の速度で運転するように心掛けている	YES	NO
4	停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離す	YES	NO
5	待ち合わせや荷物の積み下ろし時は、アイドリングをやめている	YES	NO
6	エンジンの回転があがり過ぎないように注意している	YES	NO
7	信号の変わり目を予測しながら速度調整をするほうだ	YES	NO
8	加速が必要な時も、やさしくアクセルを踏み増すよう心掛けている	YES	NO
9	エンジブレーキを活用するように心掛けている	YES	NO
10	気候の良い時は、エアコンを使わないよう心掛けている	YES	NO

出典：(財)省エネルギーセンター「エコドライブチェックシート」より抜粋。

すべて「YES」のあなたは「エコドライブ」に対する意識が高いです。次頁から「エコドライブ」の具体的な運転方法をお話します。

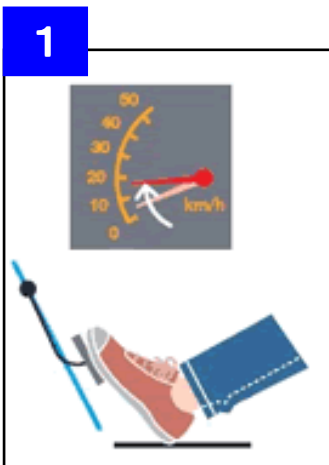


## エコドライブ その2

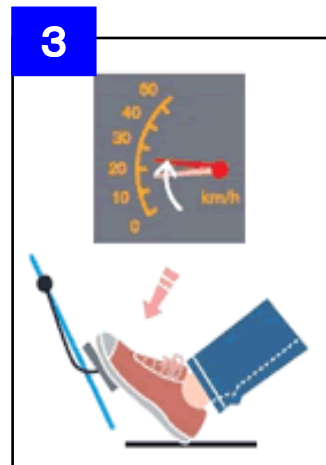
### エコドライブの具体的運転方法：エコ安全ドライブ第1条

#### ・発進時の運転操作 ふんわりアクセル「eスタート」

発進時の操作は、燃料消費削減の大きな節約ポイントです。おだやかにアクセルを踏み込んで、発進から5つ数えたときに、時速20Kmになることを目安に「ふんわり」と発進します。このように発進するだけで燃料消費は10%程度少なくなります。



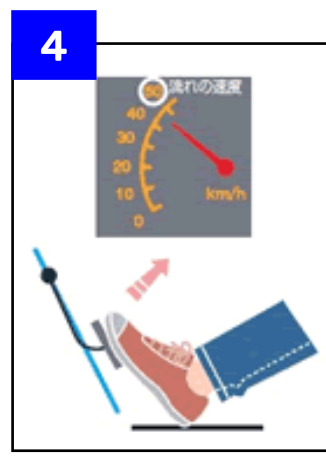
ブレーキからアクセルへ一呼吸置く感じで足を移します(クリープ現象を利用します)。



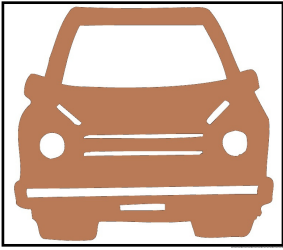
速度の上昇とともに徐々に踏むちからをふやします。



アクセルに足をのせる感じでジワット踏み始めます。



加速しすぎないように流れの速度になる手前で少しもどします。



## エコドライブ その3

### エコドライブの具体的運転方法：エコ安全ドライブ第2条

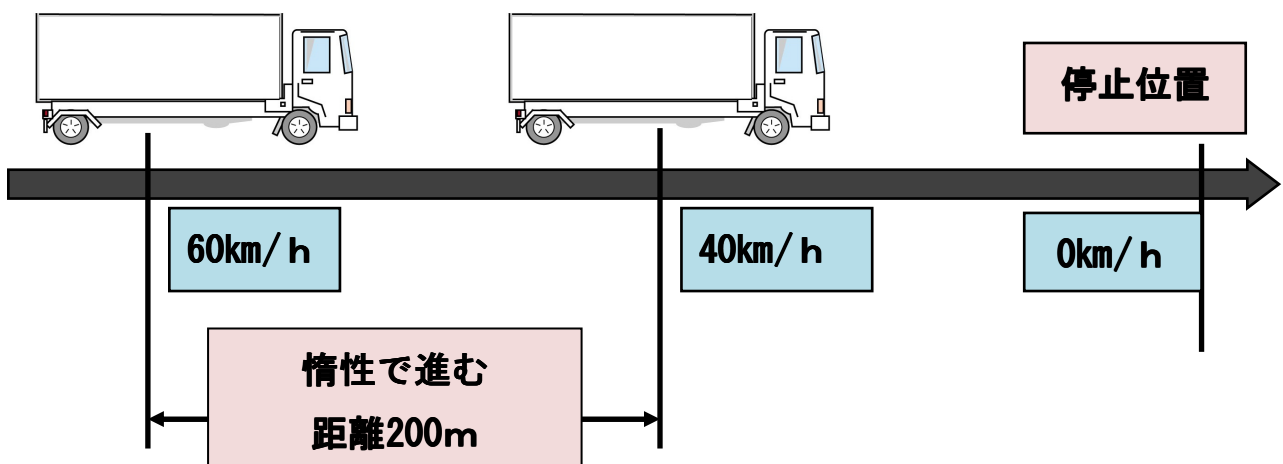
#### ・減速時の運転操作 早めのアクセルオフ

走行中の車は、アクセルを離してもしばらくは惰性で進みます。下記の図のように時速60kmで走行している車で、アクセルオフしてから惰性で約200m進みます。こうすれば少ない燃料で走行できます。

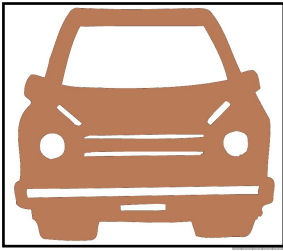
そこで、前方で停止したり、曲がったりするなら、早めにアクセルから足を離してエンジnbrレーキで減速しましょう。

エンジnbrレーキを使うと、燃料の供給が停止されること(燃料カット)があるので省エネ効果が得られ燃費改善につながります。また、坂道などを下る時にも、エンジnbrレーキを活用しましょう。データによると、早めのアクセルオフやエンジnbrレーキの活用を心がけると2.1%程度燃料消費が少なくなります。

まさしく「エコドライブ」を実践できるというわけです。



燃料消費量の削減効果 6～10cc



## エコドライブ その4

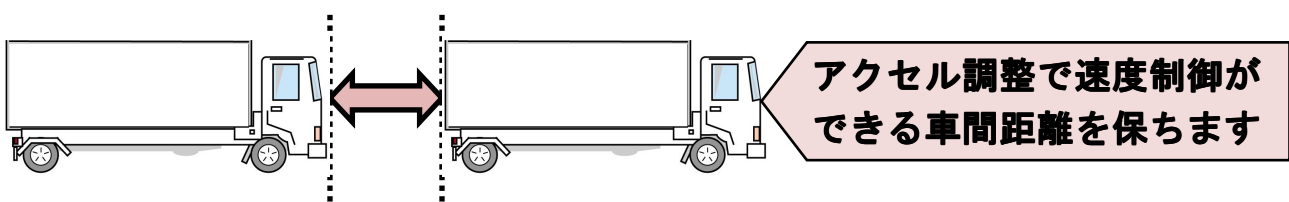
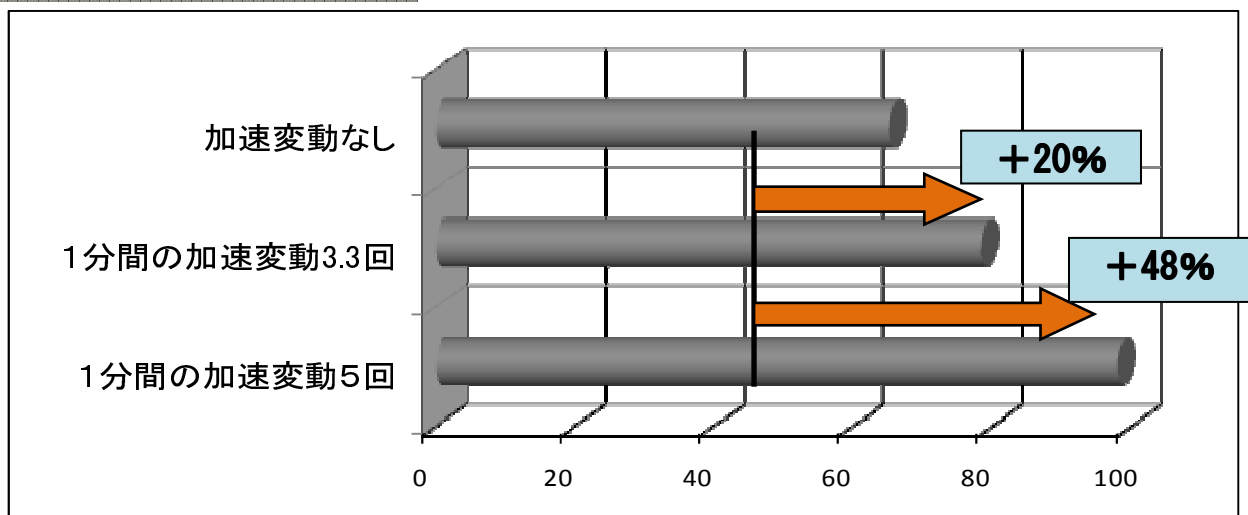
### エコドライブの具体的運転方法：エコ安全ドライブ第3条

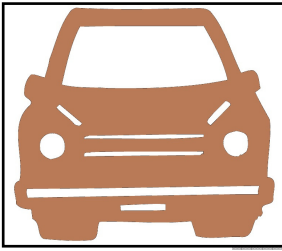
#### ・速度変動の少ない運転。車間距離は余裕をもちとう

同じ速度で走行してもブレーキ、アクセル、ブレーキ、アクセルとひっきりなしに速度を変えると燃料が消費されます。そのためには前車との距離に余裕をもたせ加減速の少ない運転をします。

一般道路では走行速度を気にするのではなく速度変動をしたい気持ちを抑制しましょう。高速道路では、例えば100kmを95kmに速度減するだけで燃費を5%節約できます。気持ちにも余裕ができて安全運転につながります。以下は加速変動の回数による燃費消費量のグラフです。変動回数が多くなるほど燃費消費量が増えていきます。

#### 速度変動による 燃費消費量への影響





## エコドライブ その5

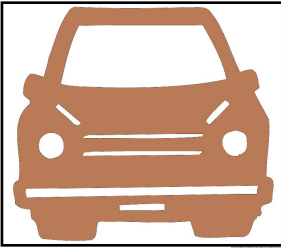
### エコドライブの具体的運転方法：エコ安全ドライブ第4条

#### ・タイヤの空気圧をこまめにチェックしましょう。

財団法人省エネルギーセンターの実験によると、タイヤの空気圧が適正值より50kPa (0.5kg/cm<sup>2</sup>) 不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化するというデータがあります。つまり燃費が悪くなるというわけです。なぜ、空気圧が適正でないと燃費が悪くなるのでしょうか？ 自転車のタイヤの空気が抜けるところのが重たくなった体験をしたことがありませんか。人力なら足がすぐ疲れるからタイヤに空気を入れます。でも車はエンジンが自動的に通常以上の力以上に働いてくれるのでタイヤの空気が抜けていても車を動かします。その結果、燃費が掛かるわけですから燃費をよくするためにはタイヤの空気圧をチェックしなければならないのです。タイヤの空気圧をいつ、どのようにチェックしたらよいでしょうか？ いつもタイヤの空気圧チェックをしているわけにはいきません。そこで、冬前の点検がタイヤの空気圧チェックに効果的といわれています。

冬場は気温が下がって自然に空気圧が下がりますし、冬用タイヤに替えるタイヤ交換時に空気圧チェックするのがよいでしょう。ガソリンスタンドやディーラーは、空気圧のチェックをしてくれます。適正空気圧は運転席のドアの内側や、取り扱い説明書などに右図のように表示されています。

タイヤ空気圧(kPa[kg/cm <sup>2</sup> ])	
タイヤサイズ	前・後輪
155/80R13 79S	240 {2.4}
応急用タイヤ	
T115/70D14 88W	420 {4.2}
52420	J2



## エコドライブ その6

### エコドライブの具体的運転方法：エコ安全ドライブ第5条

#### ・アイドリングストップ

自動車が止まっている時に、エンジンがかかったままのことをアイドリングといいます。停車時にエンジンを止めて、ガソリンを節約することがアイドリングストップです。

こんな時は、忘れずにアイドリングストップをしましょう。

#### 1. 駐停車では確実に実施しましょう。

- ・ 荷物の積み降ろしの時
- ・ 駅などで待ち合わせをする時
- ・ サービスエリアなどで休憩をする時
- ・ コンビニなどでの買い物や用事の時
- ・ 駐車場待ち行列がなかなか動かない時

#### 2. 駐停車以外でのアイドリングストップは安全性に注意して実施しましょう。

- ・ 長く停止すると思われる踏切待ち
- ・ 信号待ちの長い交差点

始動時の燃料消費増加分はアイドリングの5秒分と同じですからこれ以上アイドリングストップすれば省エネになります。

通常、都市部では車にのっている場合の約半分が停止時間です。こまめに実施すれば大きな効果が得られます。ただし交差点などでは注意事項を参考に、無理のない範囲で行いましょう。

(財)省エネルギーセンターのエコドライブを参考にしました。

